

女性の就業に関する1万人調査

－20～49歳の既婚・子供あり女性【非就業・就業意向者編】2013年と2019年の比較－



20～49歳の既婚・子供あり女性のうち、現在就業していないが、就業意向がある783人を分析対象として、2013年実施の「主婦の就業に関する1万人調査」と比較した結果をまとめました。年齢構成に大きな差はないものの、就業意向（P4）では、「よい仕事があれば職業をもちたい」が減り、「いずれは職業をもちたい」が増え、以前よりも中長期的に就業を検討する女性が増えているようにも見られる一方、「すぐにでも職業をもちたい」という回答もやや増えています。同じ非就業の女性でも「すぐにでも」と「いずれは」で両極端な就業意向が増えており、採用活動する雇用主にとっては、その就業意向にあわせた情報提供がポイントになるかもしれません。

理想的な働き方（P5～P6）をみても、2013年調査に比べ通勤時間が長めになっていたり、土日の休日希望が減少していたり、女性側の働き方も多様になっている様子がうかがえます。たとえば、出勤パターンを複数用意するといった工夫が今後は一層求められそうです。

調査概要

調査名	女性の就業に関する1万人調査
調査目的	女性の就業実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
調査期間	2019年2月5日～2019年2月20日
対象者条件	全国18～64歳の女性
有効回答数	10,000人（スクリーニング調査での出現にあわせて年齢・就業状況で割付）

本調査（2019年）の詳細は「女性の就業に関する1万人調査」基本報告書をご覧ください。
https://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20190404_1116.html

お問い合わせ先 <http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html>

レポートの分析対象

- 20～49歳のうち、働き方の影響を受ける「同居している子供の有無」や婚姻状況でセグメントし、「既婚・子供あり」を分析対象とする。また、**本レポートでは非就業・就業意向者を対象**とする。

全体 n=10,000		
20歳未満 (n=298)	20～49歳 (n=6,348)	50歳以上 (n=3,354)

		同居している子供の有無	
		子供あり	子供なし
婚姻状況	既婚	既婚・子供あり (n=2,147) 就業者 n=1,124 非就業者 - 就業意向あり n=783 - 就業意向なし n=240	既婚・子供なし n=977
	離婚・未婚・死別	子供あり (既婚除く) n=304	

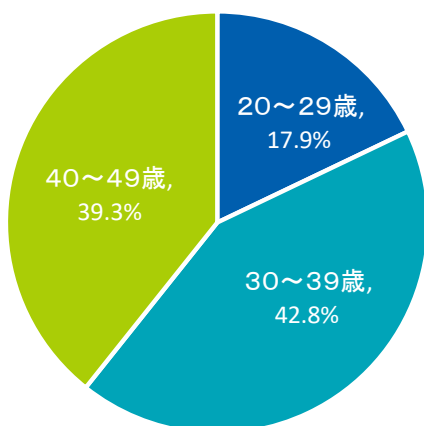
- 2013年に実施した「主婦の就業に関する1万人調査」のうち、上記定義同様の「既婚・子供あり」の「非就業者かつ就業意向ありn=2,189」を比較分析対象とする。本レポートは20～49歳既婚・子供あり女性の変化を明らかにすることを目的とする。なお、年齢分布は下記のとおりで大きな差はみられない。(以下本文で2013年調査と表記する場合は下記対象)

	n=	20～29歳	30～39歳	40～49歳
		既婚・子供あり 就業意向あり	2189	14.9

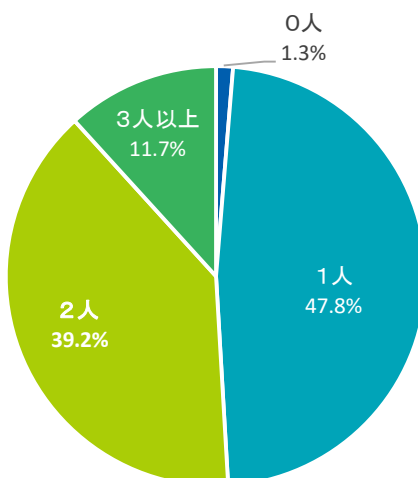
■基本プロフィール

本レポートの分析対象者の年齢は「30～39歳」42.8%がもっとも多く、「40～49歳」39.3%、「18～29歳」17.9%である。同居している子供の数は「1人」が47.8%で半数弱を占めている。末子学齢は「小学校入学前」64.1%がもっとも多く、就業者（同43.1%）よりも末子学齢は低い傾向がある。

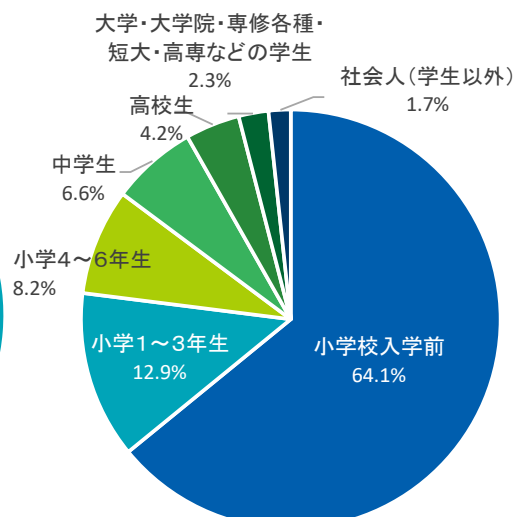
年齢



子供の数（同居）



末子学齢（同居）

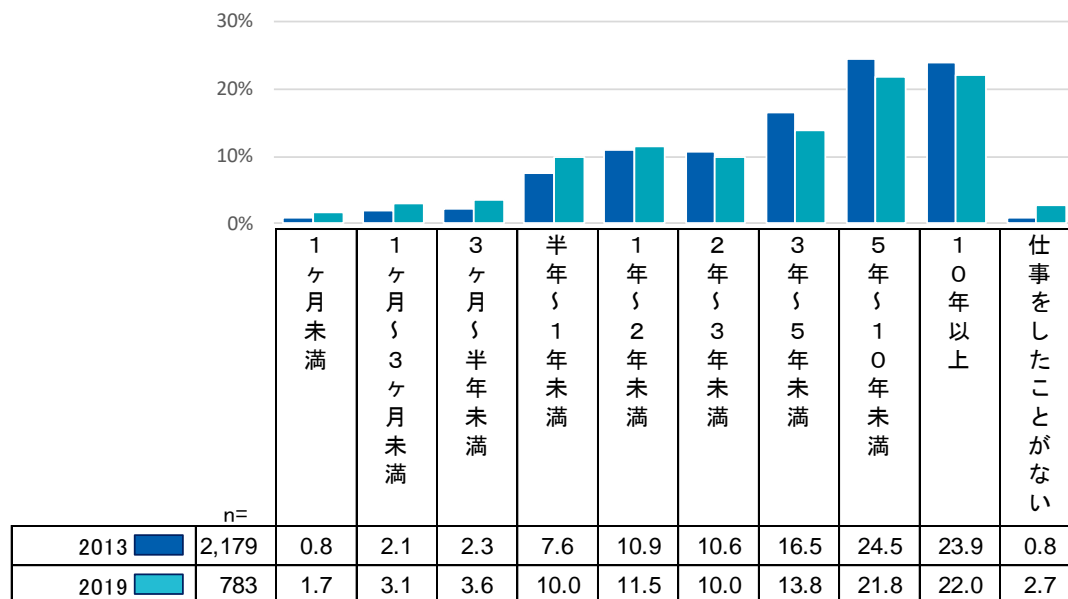


※調査結果は小数点第二位を四捨五入のため、TOTALが100%にならない場合がある

20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 非就業・就業意向者 (n=783)

■ブランク期間

前のお仕事からのブランク期間を比較すると、いずれも「5年～10年未満」「10年以上」がそれぞれ2割強でボリュームゾーンである。「1ヶ月未満」～「半年～1年未満」の比較的短期間をみると、2019年の方がやや多い。



※2013は無回答n=10を除く

Q：あなたは、前のお仕事からどれくらいブランクがありますか。（S A）

■仕事を選ぶ際の重視項目

仕事を選ぶ際に重視する項目のTOP3は「転勤が無いこと」「希望する休日、残業、勤務時間であること」「休暇をとりやすいこと」で、2013年調査と上位にあがる項目は同じであった。また、就業者同様に「安心して働けそうであること」が以前よりも上位にあがった。非就業者の場合、仕事内容よりも場所や休日、時間といった条件面と環境が重視されている。

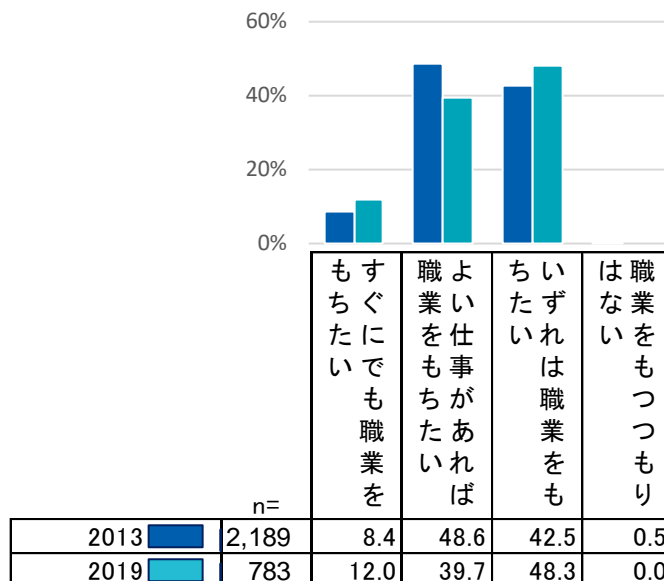
	仕事を選ぶ際の就業条件の重視度	たいへん重視	分類	2013年
1位	転勤が無いこと	42.5%	場所	1位(→)
2位	希望する休日、残業、勤務時間であること	40.6%	休日・時間	3位(↑)
3位	休暇をとりやすいこと	39.3%	休日	2位(↓)
4位	希望する勤務地であること	36.9%	場所	5位(↑)
5位	通勤の便が良いこと	36.1%	場所	4位(↓)
6位	勤務する曜日が選べること	35.2%	休日	6位(→)
7位	安心して働けそうであること	34.5%	環境	9位(↑)
8位	勤務する時間が選べること	33.3%	時間	8位(→)
9位	通勤時間が短いこと	33.2%	場所	7位(↓)
10位	働く日数を選べること	30.1%	休日	10位(→)

2013年はn=2,189

Q：あなたは、仕事を選ぶ際に以下の条件をどの程度重視しますか。（S A）

■就業意向

今後の就業意向を聞くと「いずれは職業をもちたい」48.3%がもっとも多く、次いで「よい仕事があれば職業をもちたい」39.7%となった。「いずれは～」が増え、中長期で仕事を考える女性が増えている一方で、「すぐにでも職業をもちたい」12.0%も2013年調査より増えた。



Q：あなたは今後職業をもちたいと思いますか。（S A）

■仕事の目的

仕事の目的は「生計の維持（生活費や学費等を稼ぐ）のため」69.9%がもっとも多く、「自由に使えるお金（小遣い）の確保のため」54.0%、「貯蓄、貯金をするため」49.4%と続いた。2013年調査と比較すると、「自分が成長するため」「視野を広げるため」といった自己の成長よりも、「旅行の費用を稼ぐため」や「ローンなどの返済のため」など決まったお金の使い道が上位にあがった。

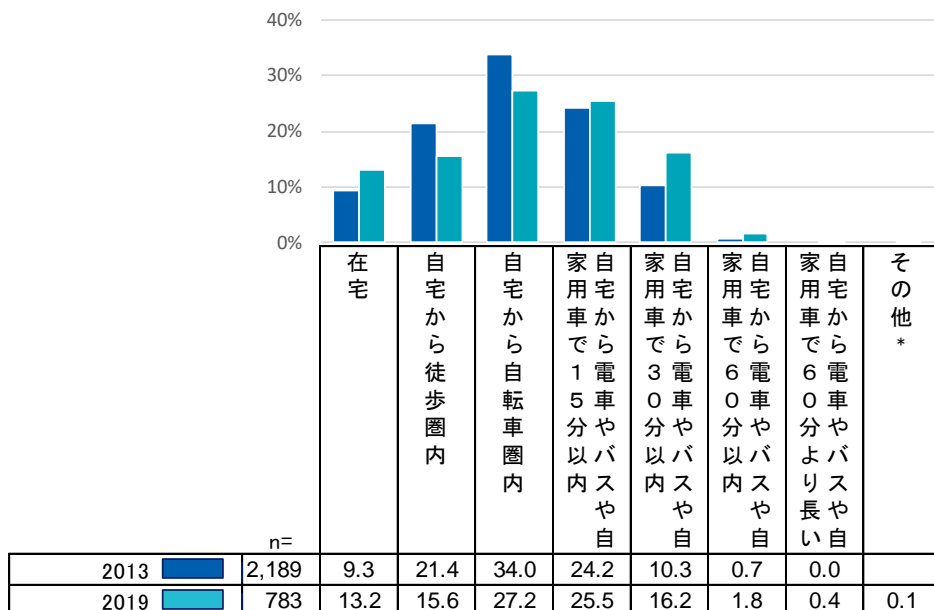
			2013年
1位	生計の維持（生活費や学費等を稼ぐ）のため	69.9%	2位（↑）
2位	自由に使えるお金（小遣い）の確保のため	54.0%	3位（↑）
3位	貯蓄、貯金をするため	49.4%	1位（↓）
4位	大きな買い物の出費に備えるため	20.1%	4位（→）
5位	社会とのつながりを得るため	18.5%	6位（↑）
6位	旅行の費用を稼ぐため	17.8%	8位（↑）
7位	ローンなどの返済のため	16.3%	9位（↑）
8位	自分が成長するため	15.7%	5位（↓）
9位	経済的に自立するため	12.5%	10位（↑）
10位	視野を広げるため	11.0%	7位（↓）

Q：あなたにとって仕事をする目的は何ですか。（M A）

20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 非就業・就業意向者 (n=783)

■理想的な働き方 (1) 通勤時間

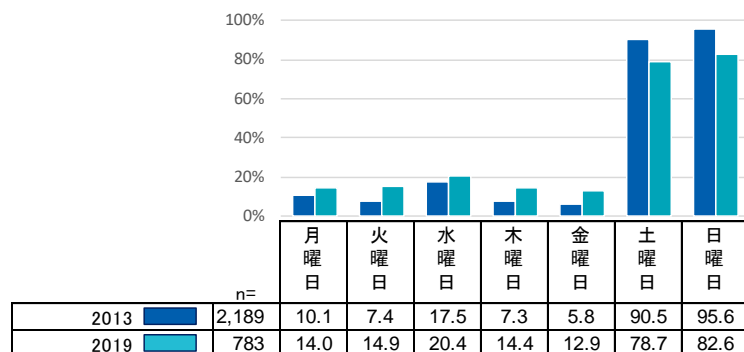
理想的な職場までの通勤時間を聞くと、「自宅から自転車圏内」「自宅から電車やバスや自家用車で15分以内」が3割弱で多い。2013年調査に比べ、自転車圏内が減少し「自宅から電車やバスや自家用車で30分以内」16.2%が増えている。



*2013は「その他」は非聴取

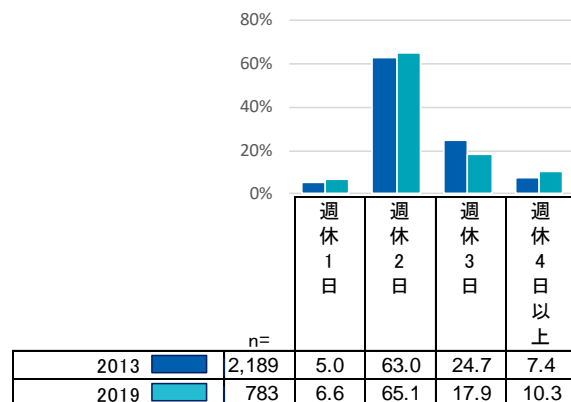
■理想的な働き方 (2) 休日の曜日

理想的な休日の曜日は「土曜日」「日曜日」が多いものの、2013年調査よりいずれも減少している。



■理想的な働き方 (3) 休日の日数

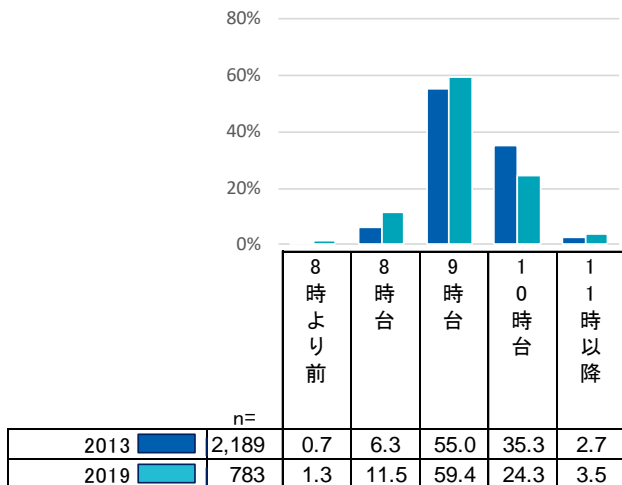
理想的な休日の日数は「週休2日」65.1%がもっとも多い。2013年調査に比べ「週休3日」が減少している。



20～49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 非就業・就業意向者 (n=783)

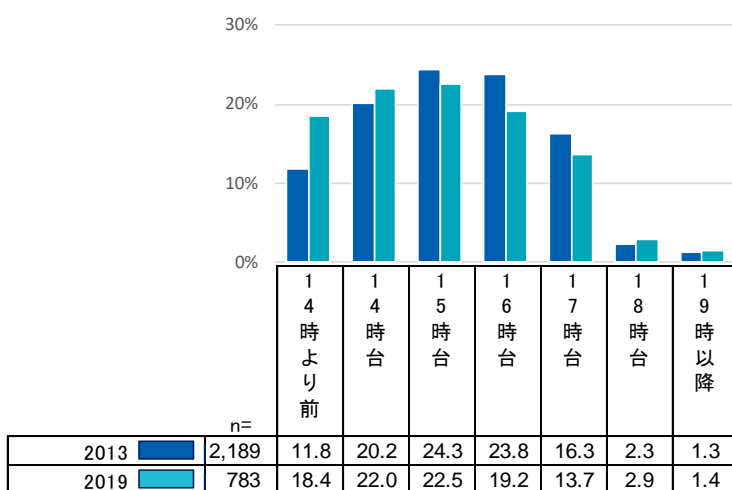
■理想的な働き方 (4) 始業時間

理想的な始業時間は2013年調査同様、「9時台」59.4%が多い。「8時台」が増え、「10時台」が減っている。



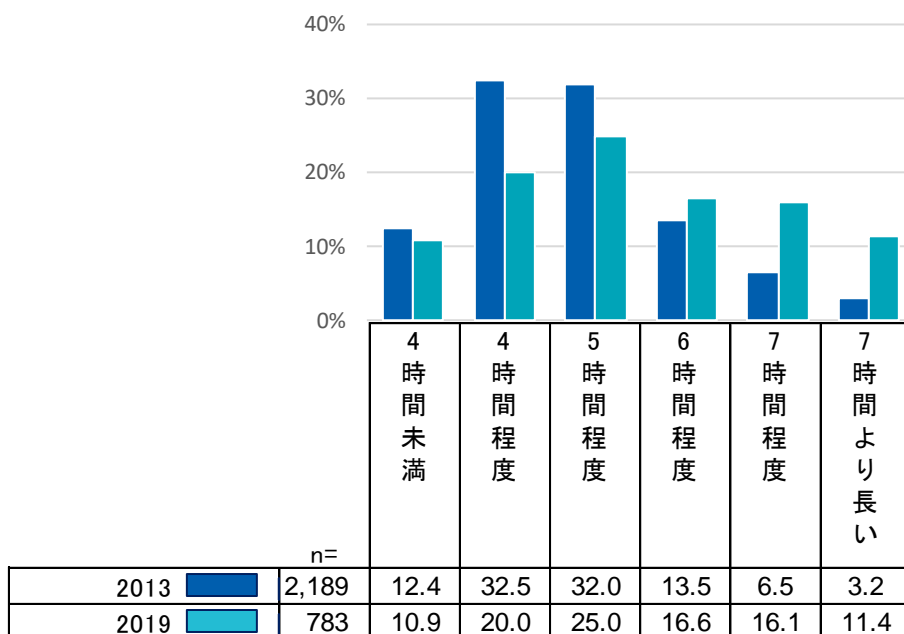
■理想的な働き方 (5) 終業時間

理想的な終業時間は「15時台」「14時台」が2割を超え多い。2013年調査よりも「14時より前」18.4%が増えている。



■理想的な働き方 (6) 一日の就業時間

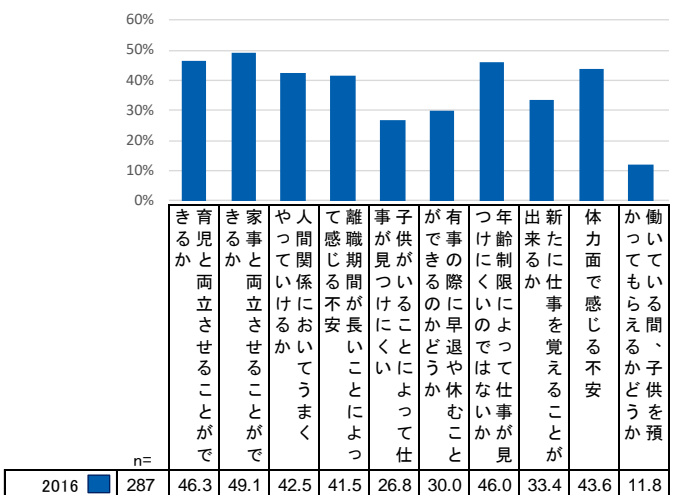
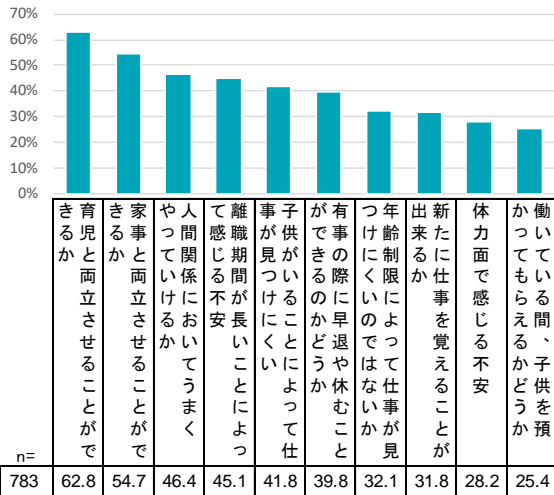
理想的な一日あたりの就業時間は2013年調査に比べ、時間が長い傾向にある。「4時間程度」「5時間程度」が2割台に減少し、「7時間程度」16.1%や「7時間より長い」11.4%などが増えている。



(参考) 20~49歳の既婚・子供あり女性の就業状況 非就業・就業意向者 (n=783)

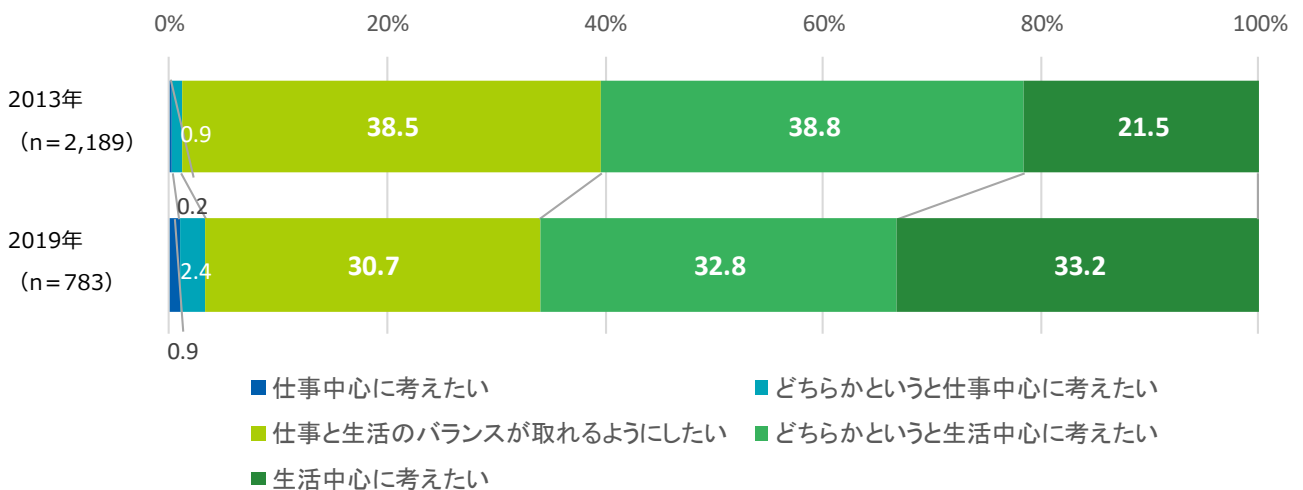
■就職に向けて不安に思うこと (2019年調査の上位10項目)

2013年調査は聴取なし、2016年「主婦の就業に関する追跡調査」は一部聴取方法が異なるため参考掲載



Q：就職にあたりどのようなことが不安に思われますか。(MA)

■仕事と生活のバランス



Q：あなたは、仕事と生活について、どちらを中心に考えたいですか。(SA)